

明治安田生命 次世代トップアスリート決定について

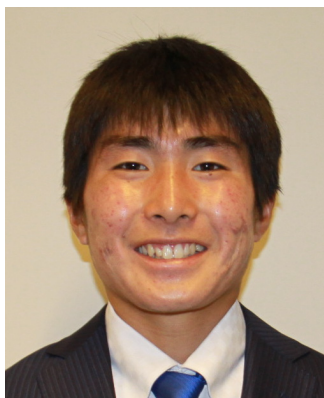
明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、「次世代トップアスリート 応援プロジェクト ～めざせ世界大会～」において、昨年に続き、世界を舞台に活躍することが期待される若手スポーツアスリート2選手に対して支援することを決定いたしました。これまでに支援を開始した5選手とあわせて7選手を応援していきます。

当社は、お客さまとともに安心して豊かに暮らせる社会や環境を育み、守っていただけるよう、社会貢献活動に積極的に取り組んでおり、その一環としてスポーツを通じた地域社会の活性化や子どもの健全育成に向けた取組みを展開しております。

今後もわが国のスポーツ文化の発展に寄与するため、次世代トップアスリートへの支援を継続してまいります。

○新たに選定した2選手のプロフィール（継続5選手のプロフィールは3頁以降ご参照）

■野口 莉央 選手（神奈川県）



競技種目	テニス
職業	プロテニスプレーヤー（18歳）

<コメント>

私は今年、将来の目標であるグランドスラム出場をめざして、プロテニス選手として活動を始めました。この度、応援プロジェクトのメンバーとして、世界を舞台に戦っていく第一歩を支援していただくことになり、大変心強く、また感謝の気持ちでいっぱいです。

私は身長170cm程で小柄ですが、「小さくてもできる」を信条に全力で、そして誰もが観て楽しめるプレーで結果を残していき、多くの方々から応援したいと思っていただける選手になりたいと思っています。そのためにもプロジェクトメンバーの自覚を常に持って努力していきます。

<主な実績>

2016年12月	インドネシアフューチャーズ	ダブルスベスト4
2016年8月	全日本ジュニアテニス選手権18歳以下	ダブルス優勝
2016年8月	全国高校総体	シングルス優勝
2016年4月	トルコフューチャーズ	ダブルスベスト4
2016年3月	全国選抜高校テニス大会	団体優勝

■成田 琉夏 選手（秋田県）



競技種目	フェンシング（エペ）
学 校	聖霊女子短期大学付属高校 2 年生（16 歳）

<コメント>

この度は「次世代トップアスリート 応援プロジェクト」のメンバーに選んでいただき、ありがとうございます。私自身、世界で活躍できる選手になるためには、まず国内で活躍できる選手にならないといけないと思っています。そのため、国内で行われるどんな試合でも、自分の一番いいフェンシングができるように努力していきます。

そして、海外で行われる試合では、自分のフェンシングに自信を持ち、堂々とした試合をしていきたいです。限界を決めず、自分の力を信じて頑張っていきたいと思います。

<主な実績>

2017年1月	第24回JOCジュニアオリンピックカップ フェンシング大会 ジュニア（U-20）女子エペ 優勝
2017年1月	第24回JOCジュニアオリンピックカップ フェンシング大会 カデ（U-17）女子エペ 優勝
2016年8月	全国高校総体フェンシング競技大会 女子エペ優勝
2016年1月	第23回JOCジュニアオリンピックカップ フェンシング大会 カデ（U-17）女子エペ 優勝
2015年7月	全国中学生フェンシング選手権大会 女子エペ優勝

【2015年10月期：3名】

■綿貫 敬介 選手（埼玉県）



競技種目	テニス
所 属	明治安田生命：プロテニスプレーヤー（23歳）

<主な実績>

2016年	5月	第90回関東オープンテニス選手権	準優勝
2015年	6月	軽井沢フューチャーズダブルス	優勝
2014年	6月	柏フューチャーズダブルス	優勝
2011年	3月	JOC全国選抜室内テニス選手権シングルス	優勝
2010年	8月	第64回全国高校総体ダブルス	優勝

■齋藤 麗王 選手（宮崎県）



競技種目	ボクシング ライト級
学 校	東京農業大学1年生（19歳）

<主な実績>

2016年	10月	第71回希望郷いわて国体	優勝
2016年	8月	第70回全国高校総体	優勝
2016年	3月	第27回全国高等学校ボクシング選抜大会兼 JOCジュニアオリンピックカップ	優勝
2015年	10月	第70回紀の国わかやま国体	優勝
2015年	8月	第69回全国高校総体	優勝

■入江 聖奈 選手（鳥取県）



競技種目	ボクシング
学 校	鳥取県立米子西高等学校2年生（16歳）

<主な実績>

2016年	12月	全日本女子ボクシング選手権	優勝
2016年	3月	第5回全日本アンダージュニア ボクシング大会	優勝
2015年	8月	第2回全日本アンダージュニアボクシング 王座決定戦	優勝
2015年	3月	第4回全国アンダージュニアボクシング大会	優勝
2014年	8月	第1回全日本アンダージュニアボクシング 王座決定戦	優勝

【2016年10月期：2名】

■木造 勇人 選手（愛知県）

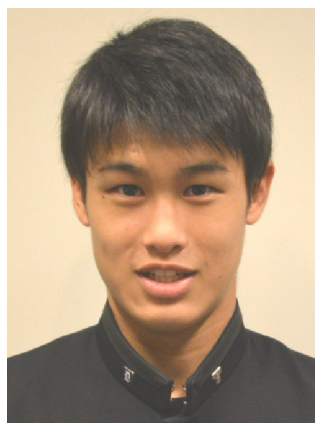


競技種目	卓球
学 校	愛知工業大学名電高等学校3年生（17歳）

<主な実績>

2017年	1月	全日本選手権大会	ジュニアの部優勝
2016年	12月	世界ジュニア	団体戦優勝
2016年	10月	第71回希望郷いわて国体	優勝
2016年	8月	第70回全国高校総体	団体優勝・シングルス優勝
2016年	1月	全日本選手権ジュニアの部	優勝

■堤 駿斗 選手（千葉県）



競技種目	ボクシング バンダム級
学 校	習志野市立習志野高等学校3年生（17歳）

<主な実績>

2017年	3月	第28回全国高等学校ボクシング選抜大会 兼 JOCジュニアオリンピックカップ	優勝
2016年	11月	AIBA世界ユース選手権	優勝
2016年	5月	ASBCアジアユース選手権大会	優勝
2016年	3月	第27回全国高等学校ボクシング選抜大会 兼 JOCジュニアオリンピックカップ	優勝
2015年	10月	第70回紀の国わかやま国体	優勝

以 上